

NPO草津市内業者会が教育支援

市内44施設に絵本寄贈

草津市を拠点とする建設関連事業者でつくる特定非営利活動法人「草津の安全福祉・災害救援活動を推進する市内業者会(略称)NPO法人草津市内業者会」理事長 森川守(樹)千商代

表取締役)はこのほど、拠点とする草津市の教育事業への支援として、市内の公立・私立保育所、家庭的保育施設、公立・私立幼稚園などに全44施設を対象に、絵本を寄贈した。

同法人は平成20年の設立以来、社会貢献活動の一環として災害時の緊急活動、清掃や不法投棄撲滅活動、宿場まつりへの協賛参画、教育事業への寄付など幅広く草津市への支援活動を行っている。教育事業へは要望を聞いて必要とされる教材などを毎年寄贈、これまで幼稚園・保育所へ絵本、小中学校へボールや地図、

中学校へ空気清浄機などを贈ってきた。今回は2度目の低年齢施設への寄贈で、対象には初めて家庭的保育施設を含めた。施設ごとに置かれている絵本の状況が違うため、必要とする書籍名や冊数を尋ね、各施設ごとに異なる中身の寄贈本を用意した。

育など多方面での支援活動を今後も継続して参ります」と述べ、橋川市長に贈呈目録を、園児代表に絵本の入った包みを贈った。

橋川市長からは「平日頃より教育活動をはじめ熱心なご支援を頂き、本当に有難うございます。『絵本は子どもが一番最初に出会う本であり、一番大切な本である』と言われ、受けた感銘が事あるごとに想像力を育てます。子ども達が大好きな絵本を大切にに使わせて頂きます」との言葉とともに、感謝状が贈られた。



園児たちに絵本を手渡す
辻副理事長(左)



草津保育所の園児たち、橋川市長と
NPO草津市内業者会の方々

寄贈を受ける施設を代表し、市立草津保育所(草津3)で行われた贈呈式には、草津市より橋川涉市長、山本善信子ども家庭部長、田中祥温幼児課長、重井啓子同課参事、草津保育所の白井昌子所長ら職員8名、NPO草津からは森川理事長の代理として辻由夫副理事長、山本雅将副理事長、綾城正壽副理事長らが出席。また園児代表として5・4歳児クラスの44名が出席した。

続いて園児らが「絵本ありがとうございますとございました。大切に読みます」と大きな声でお礼の言葉を述べ、感謝のしるしとして「ありがとうの花」を元気一杯に歌った。可愛いお礼にNPO草津の役員らは目を細めて歌を聞いていた。

辻副理事長が「教育環境の充実の一助となれば幸いです。防災・安全・福祉・教